

科目名		保安法令			
担当教員		富樫 久夫		実務授業の有無	○
対象学科		電気電子工学科	対象学年	2年	開講時期
必修・選択		必修	単位数		時間数
授業概要、目的、授業の進め方		電気の世界はさまざまな法律・省令・技術基準・内線規程などでガチガチに規制されている。この科目では建設業および電気工事業、消防設備関連、そして電気通信に関する法令等を再確認することで、各種国家試験及び2級電気工事施工管理技術検定の対策を行うとともに、将来従事するであろう業務の「しぼり」を学んでいく。			
学習目標 (到達目標)		2級電気工事施工管理技術検定試験および工事担任者試験デジタル第一級に合格する			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①電気工事施工管理技術テキスト ②ぜんぶ絵で見て覚える第1種電気工事士筆記試験すいーっと合格 (オーム社) および、オリジナル資料			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	電気に関するさまざまな法律			テキストとノート、PDF資料にて 電気工事の法律と通信・建設にかかわる法律を、要点を抑えて学ぶ	
2	電気事業法および関係政省令			テキストとノートにて 電気工作物の定義を中心に技術基準との関連を理解 (P601～620)	
3	電気工事士法および関係政省令			テキストとノートにて 電気工事の免状・資格と業務の範囲と、資格取得後の注意事項 (P625～632)	
4	電気工事業の業務の適正化に関する法律および関係政省令			テキストとノートにて 電気工事業者の定義・登録について・業務・標識・帳簿など (P633～639)	
5	電気用品安全法			テキストとノート、PDF資料にて 法の適用となる電気用品の種類とマークについて具体例を見ながら理解する (P621～624)	
6	建設業法			テキストとノート、PDF資料にて 建設業者の定義、届出・登録と許可、請負契約、主任技術者の選任、標識の掲示、帳簿について (P546～578)	
7	電気通信事業法と有線電気通信法			テキストとノート、PDF資料にて 2級施工管理および工事担任者試験の過去問題を題材にして、強電と弱電の法律的な関係を考察する (P640～650)	
8	消防法			テキストとノートにて 電気工作物と防火対象物の関係、消防設備の設置と整備と電気工事 (P670～681)	
9	労働安全衛生法・労働基準法			テキストとノート、PDF資料にて 電気工事にかかる安全管理について、法的根拠と実例から考察する (P682～763)	
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
取組み姿勢	小テスト	期末試験		PDF教材はPCでの閲覧、ノートはiPadまたはWindowsパソコンのOneNoteになります。	
0 %	50 %	50 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		電気・電子技術者として設計の現場に5年係わっていた 第一種電気工事士			